

# **RIKKEN**

2018.11

参議院比例第7総支部版

立憲民主編集部 〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-12-4 ふじビル3F Tel. 03-6811-2301 Fax. 03-6811-2302 goiken@cdp-japan.net http://cdp-japan.jp/

# つながって ささえあう社会へ

立憲民主党も、昨年の結党からちょうど 一年の節目を迎えました。まずもって、この 間、温かいご支援・ご協力をいただいてまい りました皆さまに、心から感謝を申し上げ ます。

さて、10月24日に、第197回臨時国会 が開会しました。会期は12月10日(月)ま での48日間です。私たち立憲民主党は、7月 末に通常国会が閉会して以降、臨時国会の 早期開催を政府・与党に対して要求し続け てきました。まだ通常国会の会期中であっ た7月上旬、大規模な豪雨災害が発生して、 西日本を中心に甚大な被害をもたらし、そ の後、9月には北海道胆振東部大地震が発 生、そしてさらに追い打ちを掛けるかのよ うに、日本列島を大型台風が続けざまに 襲い、被害を拡大させました。

これだけ大きな自然災害が続いたわけですから、本 来であれば、早期に臨時国会を開いて、災害被災地の 復旧・復興支援のための補正予算を措置するべきだっ たのです。にもかかわらず、自民党は党の総裁選の日 程や、安倍総理の外遊日程を優先し、私たちの要求を 無視し続けました。結局、通常国会終了から3ヶ月も 経ったこのタイミングでの国会召集となったわけです が、まったく遅きに失しています。あらためて強く、政 府・与党に抗議しておかなければなりません。

その臨時国会の最大の争点の一つが、外国人労働者 の受け入れ拡大をめざす入国管理法改正案です。立憲 民主党でもこの動きを見据えて、8月に「外国人受け入 れ制度検討PT」を立ち上げて、私がその座長に就任し、 すでにヒアリングや党内論議を重ねてきました。今回、



臨時国会召集日に参議院役員 (議長・副議長・常任特別各委員長等) が揃い踏み

政府が初めて「人手不足解消」のために外国人労働者 の受け入れを拡大することを課題提起したわけです が、これだけ大きな政策転換で、かつ日本国民の将来 にも大きな影響を与える内容の法案であるにもかかわ らず、具体的な中身について国民的な議論も理解もな いまま、拙速に結論ありきで法案成立を図ろうとする やり方に、私たちは強い懸念と憤りを感じています。 今後、その他の主要課題とともに議論が本格化してい きますが、私たちはあくまで働く仲間たちの権利と安 心・安全を確保する観点で議論に臨んでいく所存です。

ところで、臨時国会が始まり、衆議院・参議院それぞ れで各会派の議席が確定したことで、ようやく私の今 後1年間の所属委員会が決まりました。参議院「沖縄 及び北方問題に関する特別委員長」の職を引き続き拝 命し、併せて、予算委員会の委員と厚生労働委員会の オブザーバー理事を務めさせていただきます。また、 党務の方でも新たに幹事長代理を拝命し、政務調査会 の方では厚生労働部門の部会長を務めることになりま した。重責を担うこととなり身の引き締まる思いです が、来年は春の統一地方選挙、夏の参議院議員選挙と 重要な決戦も控えていますので、とことん走り回って 頑張っていきたいと思います。今後とものご指導とご 鞭撻をどうか宜しくお願いいたします。

> 2018年11月吉日 立憲民主党 参議院比例第7総支部長 参議院議員石橋みちひろ

# 石橋みちひろ プロフィール



■1965年7月1日、島根県安来市生まれ。松江市育ち。

■ 学歴

1988年 中央大学 法学部法律学科卒業。

1991年米国・アラバマ大学大学院修了(政治学修士号取得)。

■ 職歴・議員歴

992年 全電通 中央本部入職(国際部職員)。

2001年 国際労働機関(ILO) 国際研修センター(ITC) 労働者教育プログラムアジア太平洋 地域担当官(在イタリア・トリノ)。

2009年4月~ NTT労組 特別中央執行委員/情報労連中央本部 特別執行委員。

2010年7月11日 第22回参議院議員選挙において初当選(比例区)

2016年7月10日 第24回参議院議員選挙において再選(比例区)。現在に至る。

沖縄北方特別委員会委員長、予算委員会委員、厚生労働委員会委員(オブザーバー理事) 立憲民主党幹事長代理、立憲民主党厚生労働部会長

立憲民主 (2)

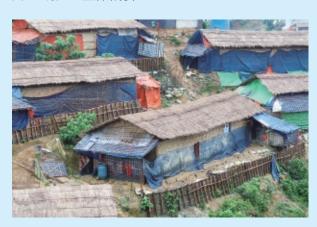
# 国会閉会中の8月~9月にかけて、 石橋議員は3回の海外視察を行いましたので、 その概要を報告いたします。

#### 「ロヒンギャ難民問題現地視察」 (8月31日~9月6日)

現在、国際的にも大きな懸案課題となっている「ロヒンギャ難民」の現状を調査すべく、超党派「ミャンマー民主化議連」のメンバー3名で、バングラデシュとミャンマーの両国を訪れました。

「ロヒンギャ難民」問題とは、ミャンマーの北西部、バングラデシュと国境を接したラカイン州に居住していたムスリム(イスラム)教徒のロヒンギャ族が、昨年8月25日に現地で発生した襲撃事件を契機にミャンマー国軍から武力による攻撃を受け、その難を逃れるために約70万人が国境を越えてバングラデシュ側に逃れ、難民化しているという問題です。

最初に国境沿いの巨大なロヒンギャ難民のキャンプに入りましたが、まさに百聞は一見にしかず。実際に現場に行くとその光景にただ驚愕するばかり。過去に発生したロヒンギャ難民と合計すると、100万人以上だと言われているロヒンギャ難民キャンプは、想像を絶するほど巨大かつ厳しい生活環境下にありました。



現地では、主に国連の諸機関が役割分担しながら実施している支援プログラムを視察するとともに、難民の皆さんの居住環境や生活の実態などつぶさに視察をさせていただきました。

また、翌日にはダッカでバングラデシュ政府の関係者などと会談。その日のうちに今度はミャンマーへ移動して、2日間、問題の発生地であるラカイン州北西部のマウンドー地区に入って、現地の実情を直接、視察しました。住民の皆さんは、移動の自由を奪われていて、以前は農業や漁業で生計を立てていたのですが、それも出来ない状態にあり、WFP(国連世界食糧計画)が行っている食糧配給だけが頼りになっています。

そんな中でも、現地で会ったロヒンギャ族の子ども達の 多くは元気いっぱいで、笑顔溢れる姿を私たちに見せてく れました。ただただ平和に、安心して、以前のように普通 に暮らしていきたいだけなんだと訴えるロヒンギャの皆



さんの言葉、私の胸にしっかりと刻み込んできました。

マウンドーには一泊したのですが、危険過ぎて一般の宿には泊まれないので、UNHCR (国連高等難民弁務官事務所)のゲストハウスに泊まらせて貰いました。その際、国際機関の担当者とも意見交換を行い、今後の問題解決・難民の帰還実現に向けた課題などについても色々と考えさせられました。

既に、今回の視察を踏まえ、10月1日には、河野太郎外務大臣に対し、具体的な提言/要請を行いました。また、11月1日にはミャンマー独立調査委員会の大島大使との会談も行ったところです。さらに、11月9日にはミャンマー民主化議連において、視察報告を行い、今後の取り組みについても協議しています。



ロヒンギャ難民問題について、日本が果たせる役割、日

本が果たすべき役割は大きいし、現地からも諸外国からも期待されています。私たちとしても政府に積極的な取り組みを要請しつつ、応援していきたいと思いますので、皆さんからの後押しも是非宜しくお願いします。



(3) 立憲民主

#### 「米国における教育分野のICT利活用の実情視察」 (9月15日~21日)

同僚議員4名と一緒 に、米国ワシントン州 のシアトルとカリフォ ルニア州のサンフラン シスコの両市に行って きました。

今回の視察の柱は、 大きく二つ。一つは、マ イクロソフト、アップ ル、グーグルという、世 界市場を牛耳っている と言ってもいい大ICT 企業の本社を訪問して、 それぞれから教育分野 に向けた戦略を伺うこ と。そしてもう一つは、 学校現場を訪問して、 実際にどのような形で ICTを活用した教育が 実践されているかを確 認することでした。



最初の訪問地シアトルでは、はじめに訪問したマイクロ ソフト本社において、「AIやIoTの新たな時代に相応しい スキルや思考を身につけた人材をどう育てるかという新 しい教育システムの構築こそが重要なポイントである」と いうお話を伺いました。その後、長年にわたってマイクロ ソフト社と協力してICTを活用した教育の実践に取り組 んでいる二つのプライベートスクールを訪問しました。両 校は小学校入学前の4歳児からICT端末に触れたプログ ラムをスタートさせ、小学校2年生からはフルに端末を活 用した授業を展開(4年生からは家庭への持ち帰りも可 能。学校と家庭とをICTでつないだ学習を実践)している 様子を目の当たりにして、ICTを活用した教育の意義をあ らためて実感することができました。

続いて訪問したサンフランシスコでは、アップルとグー グル本社を訪問しましたが、前者では教育分野向けソ リューションの紹介に加えて、日本の教育環境の課題につ いても問題提起をいただいて、大変中身の濃いディスカッ ションもさせていただきました。また、後者でも、グーグ ルとしての教育市場へのアプローチの全体像についてお 話を伺って、意見交換を行うことができました。

以上の3社においては、人材投資の金額や教育分野に投 入しているヒューマンリソースが日本の企業とは桁違い なので、あらためて日本の政府や企業がこの分野において 取り組んでいるスピードとの歴然とした差に強く危機感 を覚えました。



今回の米国視察で得た 問題意識や課題を、今後の 日本での政策展開へしっ かりとつなげていきたい と思います。正直なとこ ろ、日本の教育システムの 根幹にかかわる課題も あって、乗り越えるべき力 べはかなり高いですが、子 どもたちの未来のために も必ずやり遂げていかな いといけません!



(4)

# 「ILO議連ベトナム・カンボジア視察」 (9月23日~ 29日)



超党派ILO議連の創設30周年記念事業として、「ベトナム・カンボジアにおけるディーセントワークの現状視察」を行いました。私は議連の事務局長としての参加で、団長の川崎二郎会長(自民党)を先頭に国会議員が5名。ILO駐日事務所の田口代表にもご同行いただいています。

最初に訪れたベトナムでは、労使関係問題の現状や技能 実習生/留学生をはじめとするベトナム人労働者にかか わる諸課題などのテーマについて、ベトナム国会の社会問 題委員会やベトナムの政労使代表組織、ILOベトナム事務 所、日系企業や地場企業の代表者、そして技能実習生の送 り出し機関や日本語教育学校など多様な関係組織で視察 や意見交換を行い、大変中身の濃い充実したプログラムで



大いに勉 強になり ました。

立憲民主

でもて大二がしそ私となき一り!

ベトナムがTPP11に署名をして、近く批准する予定であることに鑑み、TPP11の労働章(労働条項)を遵守するために、未批准のILO中核条約(来年98号、20年に105号、そして23年にはなんと87号も!)を批准する方針だというのです。そしてそれに合わせて、国内労働法制を国際労働基準に合致させるための労働法改正案を来年春に国会に提出し、10月には成立させる方向であるそうです。つまり、ベトナムにおいて、初めてナショナルセンターであるVGCLに属さない、独立系の労働組合の結成を認める方針であるというのです。(ただし、憲法でナショナルセンターはVGCLだけと規定されているので、今回の改正で可能になるのは企業別、産別、地域/地区別の独立労働組合だそうです)

私たちILO議連も、日本が未批准のILO中核条約105号及び111号の早期批准実現を求めて活動しているの

で、このベトナムの方針決定は大きな追い風です。

次にカンボジアでは、ディーセントワーク(やり甲斐のある人間らしい仕事=まっとうな雇用)の現状や課題について、特に労使関係や労働法制、最低賃金や社会保障制度などの論点を中心に認識を深めるとともに、今後のILOを通じた支援のあり方について大きなヒントを得ることができました。

カンボジアでは、この5年間で、労働関係法令や労使(政労使)関係における改善が見られています。例えば、最低



賃金の決定において、政労使の三者からなる委員会が設置され、そこでの協議がしっかり形になってきていることは 三者のいずれからも確認が出来ました。

一方で、2016年に改正された労働組合法については 意見が真っ二つに割れており、労働組合側は団結権及び団 体交渉権の侵害だとしてILOに提訴。ILOも昨年秋の段階 で見直しが必要だと勧告を行っています。

政府(労働大臣)も、我々に対しては「ILOとも相談しながらどのような点に課題があるのか検討していきたい」と述べましたが、同一企業内に多くの労働組合が乱立し、団体交渉が困難であったこれまでの実態に鑑みて、使用者団体からの要望にも応える形で「一定の制限はやむを得ない」という立場なのではないかと思います。

カンボジアにおけるディーセントワークの推進のためには、労使団体双方のキャパシティビルディングが欠かせないことを痛感しました。そのための今後のILOプロジェクトの展開について、われわれとしてもどのように応援してくべきか、検討していきたいと思います。



立憲民主 (5)

# 国会見学 報告

# 2018年1月 ~2018年10月

17 団体・407人の 皆さんが国会見学に



国会議事堂内の見学のほか、 石橋議員との意見交換や事務 所見学なども行っています。 また、日程が合えば本会議や 予算委員会、厚生労働委員会 などの傍聴も可能です。 (所要時間2時間30分~3時間)

#### 【見学申し込みは】

参議院議員会館 523 号室 石橋みちひろ事務所

TEL: 03-6550-0523 FAX: 03-6551-0523

みなさまのお越しをお待ちしています!





































## 石橋みちひろの情報発信

### 「石橋みちひろ」

公式 Webサイト

- 「石橋みちひろ」で検索
- ・下記 URL か右端 QR コードを入力する http://www.i484.jp/



## 「石橋みちひろ 政治家」

Facebookページ

- ・下記 URL か右端 QR コードを入力する
- https://www.facebook.com/i.michihiro
- ·「石橋みちひろ 政治家」の Facebook 画面になったら 「いいね!」 をクリックする。

